

共済会だより

Vol.41
2018.9



contents

- ▶ 平成30年度 共済会事業計画概要
- ▶ 平成29年度 事業報告 主要事業の実施概要
 - 松下社会福祉事業福利厚生基金事業
 - 福利厚生センター事業実績
- ▶ 共済会ホームページのお知らせ

平成30年度 共済会事業計画概要

国民の福祉・介護ニーズが拡大する中、国においては、社会福祉法の改正など、福祉・介護人材の確保、定着、育成に向けた総合的な取組みを一層強化しています。

しかしながら、社会福祉施設の人材不足は非常に深刻な問題であり、社会福祉施設を経営する法人においては、これからも良質な福祉サービスを提供し続けるために必要な質の高い福祉人材の安定的な確保や定着が急務となっています。

こうした状況を受け、本会は、県内の民間社会福祉事業に従事する職員の安定かつ持続する退職共済制度を運営することを目的とし、併せて会員の福利厚生増進と、県民の社会福祉に対する理解と普及啓発を図るため、次の項目を重点に事業を展開します。

重点項目

- 1 退職給付金原資の安定的な資産運用
- 2 退職共済・福利厚生事業の充実
- 3 一般県民に向けた社会福祉の広報と啓発

事業内容

1 退職共済事業の実施

会員の退職共済事業を実施する。

- (1) 掛金の徴収
- (2) 退職給付金の給付

2 松下社会福祉事業福利厚生基金事業及び福利厚生事業の実施

【松下社会福祉事業福利厚生基金事業】

会員の福祉増進を推進することを目的に次の事業を実施する。

- (1) 松下社会福祉事業福利厚生基金運営委員会 …………… 1回
- (2) リフレッシュサポート事業

会員が、次の項目に該当する場合、その費用の一部を助成する。

- ・指定旅行代理店を利用した旅行
- ・指定保養施設の利用

【福利厚生事業】

会員の福祉増進を推進することを目的に次の事業を実施する。

- (1) 福利厚生センター事業
 - ア 福利厚生センターの都道府県業務(地方事務局)の受託
 - イ 福利厚生企画情報会議の開催 …………… 3回
 - ウ 会員交流事業の実施
 - 会員交流事業及びファミリー事業 …………… 通年
 - エ 福利厚生センター地方委託講習会等の開催
 - 地方講習会、メンタルヘルス講習会、
アンダーコントロール研修 …………… 11月
 - オ 福利厚生センターへの法人加入の促進
- (2) 共済年金(貯金)事業

●平成30年度 会員交流事業等予定

No.	事業名	参加予定人数
1	「中日ドラゴンズ公式観戦」	134名
2	「柿葺落四月大歌舞伎 襲名披露」	40名
3	「LA LA LAND -IN CONCERT-」	50名
4	「オースティン・マホーン」	29名
5	劇団四季「リトルマーメイド」	200名
6	「大相撲名古屋場所」	60名
7	「THE ICE (ザ・アイス) 真夏の氷上祭典2018 名古屋公演」	50名
8	「松田聖子コンサート」	100名
9	日帰り旅行「モネの池と飛騨高山散策」	40名
10	錦織名古屋「顔見世歌舞伎」	40名
11	劇団四季「ノートルダムの鐘」	300名
12	日帰り旅行「ホテルバイキングとサンドブラスト体験」	30名
13	シルク・ドゥ・ソレイユ「ダイハツ キュリオス」	300名
14	「よしもと爆笑公演」	50名
15	一泊旅行「和歌山 南紀白浜 熊野古道とパンダ満喫!」	30名
16	「ポール・マッカートニー」ジャパン・ツアー2018	30名
17	委員企画旅行	未定
18	委員企画旅行	未定
19	演劇・コンサート(予定)	未定

会員交流事業

No.	事業名	参加予定人数
1	「グランパス VS 清水エスパルス」団体観戦	30名
2	「中日ドラゴンズ VS DeNA」団体観戦	50名
3	「グランパス VS セレッソ大阪」団体観戦	30名
4	「中日ドラゴンズ VS 阪神」団体観戦	50名
5	「はなびFes.2018 in ラグーナビーチ〜花火と音楽と食と〜」	30名
6	「中日ドラゴンズ VS ソフトバンク」団体観戦	50名
7	「中日ドラゴンズ VS ヤクルト」団体観戦	50名
8	体験ツアー「水族館ナイトツアー in アクア・トぎふ」	40名
9	「ディズニー・オン・アイス」	400名
10	「世界一受けたい授業 THE LIVE 恐竜に会える夏」	50名
11	「グランパス VS 鹿島アントラーズ」団体観戦	30名
12	「中日ドラゴンズ VS ヤクルト」団体観戦	50名
13	「グランパス VS 浦和レッズ」団体観戦	30名
14	「それいけ!アンパンマンミュージカル!」	50名
15	演劇・コンサート(予定)	未定

ファミリー事業

3 調査研究事業の実施

安定した退職共済制度を継続し、職員の福利厚生への増進に向けた調査研究を実施するとともに、広く県民に社会福祉の理解を深めるための普及啓発を目的とした不特定多数の者の利益の増進に役立つ事業を展開する。

共済制度研究委員会の開催 …………… 2回

会員事業所等実態調査の実施 …………… 随時
(福祉人材の確保・定着の推進)

4 役員会等の開催

理事会・評議員会を開催して、事業計画、収支予算、事業報告、収支決算、その他本会の運営に関する重要事項を協議する。

(1) 理事会・評議員会 …………… 2回

(2) 監事会 …………… 1回

5 その他

【広報啓発事業】

ア 会員向け事業紹介リーフレットの発行
「共済会のしおり」…………… 1回

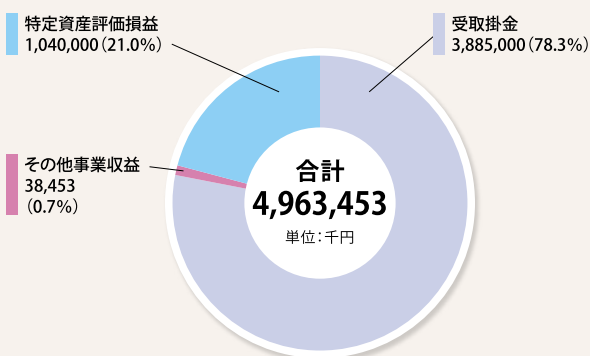
イ 会員向け広報誌の発行
「共済会だより」…………… 1回

ウ 一般県民及び会員向け広報誌等の発行
「いきいき福祉」(共済会だよりプラス) …… 1回

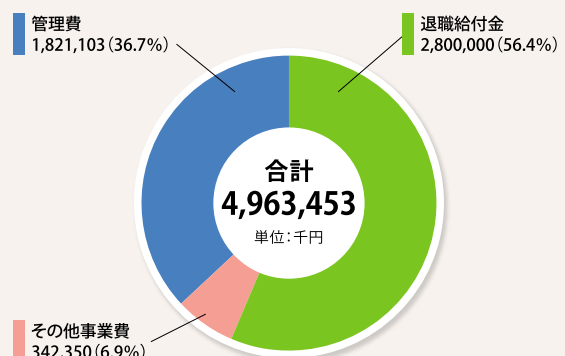
エ ホームページ等を活用した広報 …………… 随時

●収支予算

収入



支出



※正味財産増減計算書より



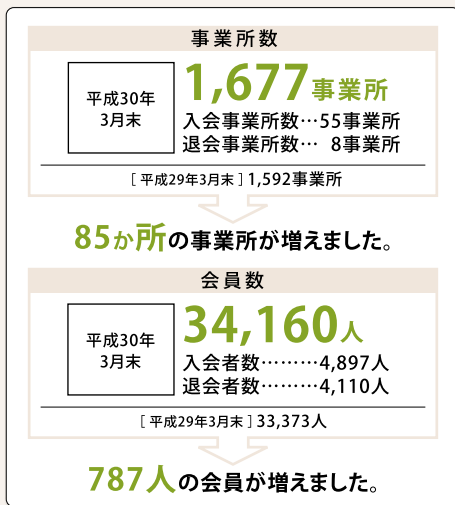
平成29年度 事業報告 主要事業の実施概要

本会は、第1に県内の民間社会福祉事業に従事する職員の退職共済事業、第2に松下基金事業並びに福利厚生センター事業を柱にした福利厚生事業、第3に広く県民を対象とした福祉の調査研究・啓発事業を次のとおり実施しました。

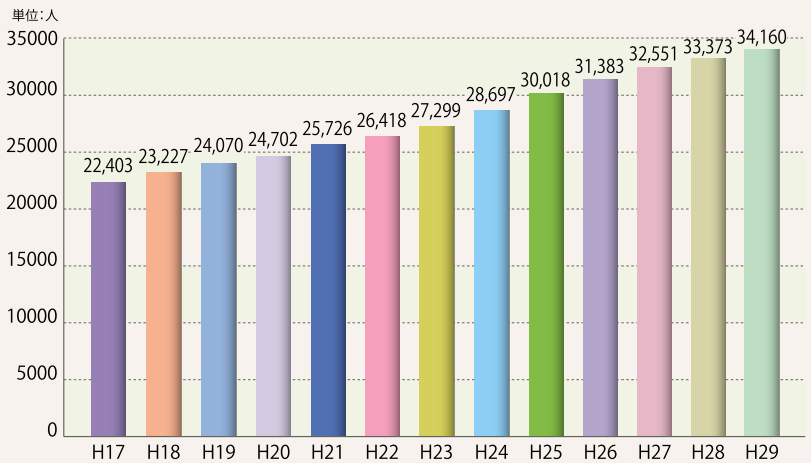
1 退職共済事業

会員による相互扶助の精神に基づいて、小規模な法人や事業所においても、職員の退職時に安定した退職金を支給できよう、大きなスケールメリットを構築、維持発展させることともに、従事する職員が少しでも長く継続的に勤められるよう、共済制度の安定的かつ有効な運用を実施した。

●愛知県共済会への加入と退会



会員数推移



●愛知県共済会の在会及び退会状況

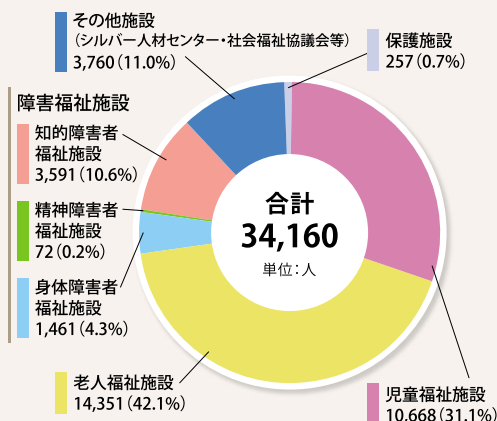
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
の状況 在会会員	会員の平均在会年数	7年6ヵ月	7年7ヵ月	7年7ヵ月
	性別(男)	29%	29%	29%
	性別(女)	71%	71%	71%
の状況 退会者	退会者数	3,770	3,975	3,854
	一時金の平均支給額	751,598	687,912	779,765
	退会者の在会年数	5年3ヵ月	5年0ヵ月	5年0ヵ月

●退職一時金支給額(過年度退会者の当年度支給を含む)

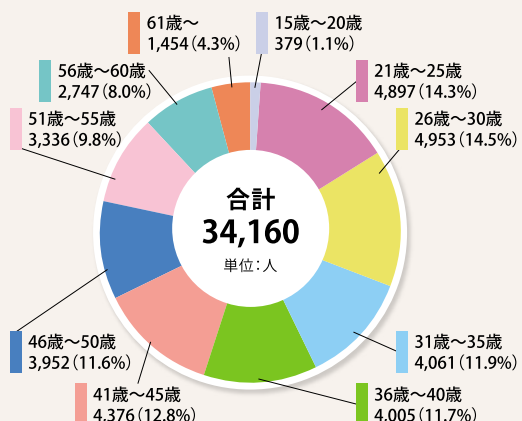
3,435人	2,626,563,967円	
項目別	支給額(円)	会員年数(年)
一人当たり総平均支給額	764,647	—
最高支給額	9,000,000	45
最低支給額	55,200	1

●会員の構成

在会者の施設種別の構成



在会者の年齢別の構成



2 松下社会福祉事業福利厚生基金事業及び福利厚生センター事業

会員の心身の健康を保ち、元気に楽しく働けるための一助となるよう、松下基金の果実を活用しリフレッシュサポート事業を実施。会員が指定旅行代理店もしくは、指定施設を利用した場合に、その費用の一部助成や映画特別割引券を全額助成した。

また、愛知県共済会は、社会福祉法人福利厚生センター（ソウェルクラブ）からの助成を受けて、ソウェルクラブ会員の相互交流を図ることを目的に会員交流事業や会員家族を含むモデル事業を実施。その他、様々なイベントや講習会を実施した。

●松下社会福祉事業福利厚生基金事業

●リフレッシュサポート事業

＜旅行編＞1,996名利用 ＜映画編＞3,000名利用

●福利厚生センター事業実績

●福利厚生センターソウェルクラブ加入数

H30.4現在

	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)
会員法人数 (新規)	95 (3)	97 (4)	100 (5)	101 (5)	109 (1)	114 (5)
会員事業所数 (新規)	323 (17)	331 (3)	333 (9)	343 (7)	350 (1)	354 (4)
会員数 (新規)	6,747 (118)	7,080 (49)	7,134 (52)	7,300 (104)	7,561 (687)	8,686 (1125)

●地方講習会

期日 平成29年11月13日

会場 ホテルサンルートプラザ名古屋

講師 ビヨンドザボーダー株式会社 代表取締役 安藤 亘 氏

参加者 69名

内容 メンタルヘルス講習会

●平成29年度会員交流事業等の実績について

No.	事業名	参加人数
1	「市川海老蔵 古典への誘い」	100名
2	「中日ドラゴンズ公式観戦」	138名
3	「Disney HAWAIIAN Concert 2017」	30名
4	中日劇場「コロケ特別公演」	50名
5	「デザートピュッフェとウィーン少年合唱団」	43名
6	ミュージカル「紳士のための愛と殺人の手引き」	50名
7	劇団四季「リトルマーメイド」	400名
8	よしもと新喜劇「中村美津子劇場」	50名
9	「大相撲名古屋場所（十四日目・千秋楽）」	60名
10	志村けん一座「志村魂12」	50名
11	「THE ICE（ザ・アイス）」名古屋公演	100名
12	「松田聖子」コンサート	100名
13	「AAA ARENA TOUR」コンサート	50名
14	「FIVB ワールドグランドチャンピオンズカップ2017」名古屋大会（女子）	100名
15	「プラスト!ミュージック・オブ・ディズニー」	44名
16	中日劇場「レ・ミゼラブル」	50名
17	日帰り旅行「悠久600年の歴史を刻む秋葉総本殿可睡齋の精進料理と直虎ドラマ館」	34名
18	「ディズニー・オン・クラシック」	50名
19	「錦織名古屋顔見世」	40名
20	一泊旅行「No.1旅館和倉温泉加賀屋に泊まり、金沢を愛でる会」	30名
21	「BIGBANG JAPAN DOME TOUR 2017」	30名
22	「よしもと爆笑公演」	30名
23	日帰り旅行「日本海の幸 選べるランチとちくわ作り体験」	40名

会員交流事業



日帰り旅行「秋葉総本殿 可睡齋」



一泊旅行「和倉温泉加賀屋」

No.	事業名	参加人数
1	きかんしゃトーマスファミリーミュージカル「ソドー島のたからもの」	100名
2	「ドラゴンズ VS 広島」団体観戦	50名
3	「森山直太郎」コンサート	100名
4	「ドラゴンズ VS 日本ハム」団体観戦	51名
5	体験ツアー「水族館ナイトツアー in アクア・トトぎふ」	40名
6	「ドラゴンズ VS DeNA」団体観戦	50名
7	「ドラゴンズ VS 巨人」団体観戦	50名
8	ディズニー・オン・アイス「Everyone's Story」	400名
9	「ドラゴンズ VS 阪神」団体観戦	50名
10	「アンパンマンミュージカル」	193名
11	「レゴランドファミリーチケット斡旋」	228名

ファミリー事業



日帰り旅行「ちくわ作り体験」

3 調査研究事業

福祉の調査活動を実施した。

<福祉の調査活動>

- ・福祉人材の確保・定着に繋がるよう、離職者の状況や離職理由等の把握のため退職者へのアンケート調査の企画立案。

4 役員会等の開催

主体的な法人経営及び信頼される法人を組織するため、各種役員会・委員会を開催した。

理事会	4回	共済制度研究委員会	1回
評議員会	2回	松下社会福祉事業福利厚生基金事業運営委員会	1回
監事会	1回	福利厚生企画・情報会議	3回

5 その他

共済会だよりを発行し会員向けに共済会事業を周知した。共済会だよりプラスを発行し広く一般県民を対象とし福祉の理解促進を図るため普及・啓発を図った。

また、「共済会しおり」の発行やホームページの更新を実施し広報を図った。

会員の福利厚生の一環として、家庭用常備薬のあっせんを実施した。

年2回 8月、1月に実施

<共済会だより等の発行>

共済会だよりVol.39

発行数 51,000部 発行時期 平成30年2月

共済会だよりプラスVol.40「いきいき福祉」

発行数 43,000部 発行時期 平成30年3月



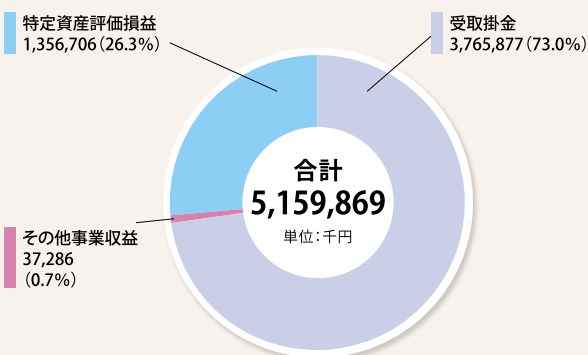
<共済会しおり発行>

発行数 51,000部 発行時期 平成30年2月

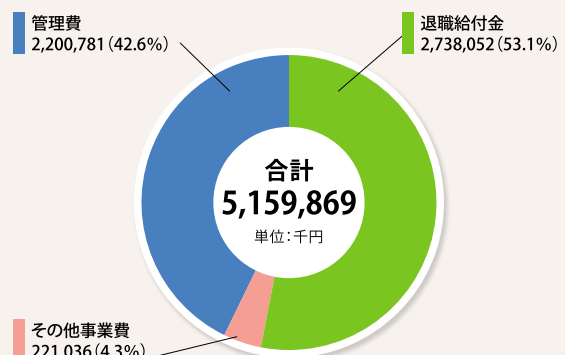


●収支決算

収入



支出



※正味財産増減計算書より

共済会ホームページのお知らせ

共済会ホームページを ご利用ください

退職共済の事務手続きの手引きや、
会員交流事業の案内などを掲載しております。
(お手元に事務の手引きがないときはご利用ください。)

<http://aichifukushikyousaikai.jp>

愛知県社協のホームページ(福祉関係者の皆様のページ)からも外部リンクにて閲覧可能です



ソウェルクラブ
Sowel
CLUB

会員数

26.2万人

(2018年3月現在)

新規会員募集中

ソウェルクラブには、
職員が求めている
福利厚生があります。



福利厚生センター(ソウェルクラブ)は…

社会福祉事業・介護保険事業に従事する方の福利厚生を全国一括で展開し、スケールメリットを活かすことにより、個々の法人では実現が難しい充実したサービスを提供しています。

1

加入のメリット

- ・職員のリフレッシュやストレス解消
- ・職員の就労意欲の向上
- ・職員のチームワークの構築 など

職場環境が改善することにより、さまざまな効果を実感していただけます。

2

充実したサービス

健診費用の助成、健康生活用品給付、各種お祝品、弔慰金をはじめとした基本サービスに加え、地域密着サービス、クラブオフなど幅広いサービスを展開しています。

3

掛金はわずか年1万円/人

会員1人当たり年1万円のご負担のみで、ソウェルクラブが提供する全てのサービスが利用できます。

また、掛金が年5千円の非常勤職員向けコース(サービスは一部限定)も用意しています。

資料請求はこちら

<法人・事業所のご担当者の皆さまへ>

ご希望の方には、ソウェルクラブのサービス内容をコンパクトにまとめたパンフレットを送付いたしますので、お気軽に下記宛てにご連絡ください。

ソウェルクラブ
Sowel
CLUB

社会福祉法人 福利厚生センター

<http://www.sowel.or.jp>

TEL ☎ 0120-292-711

詳しくは で または、お電話でお問い合わせください。

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビル10階

共済会だより

2018年9月発行

Vol. 41

一般財団法人 愛知県民間社会福祉事業職員共済会

〒461-0011 名古屋市東区白壁1-50

TEL (052) 212-5511 FAX (052) 212-5510 <http://aichifukushikyousaikai.jp/>